

令和3年度2学期始業式（高校）

2学期が始まりました。この夏休みも猛暑日が続いたり、再び新型コロナウイルスの感染が拡大するなど大変な毎日であったと思います。しかし、その中で皆さんはよく努力してきました。夏期講習はもとより、個人的に先生方から指導を受けたり、よく学習に励んでいました。そして、この後、表彰や報告がありますが、部活動でもインターハイをはじめ様々な大会で、それぞれの部がよく健闘しました。中でも囲碁の全国大会で黒川智美さんが準優勝という快挙を達成しました。おめでとうございます。

また、「カモンイン国学院」では、説明や案内、講座の手伝い、そして駐車場の係など、よく手伝ってくれました。お礼を言います。ありがとう。アンケートの感想を読んでも、皆さんに対しての感想がほとんどでした。「説明が分かりやすく、学校のことがよく理解できた」「受験のことや部活動のことを親切にいろいろと教えてくれた」「場所が分からなくて迷っていると、声をかけてくれた」「すれ違う生徒さん全員が、よく挨拶してくれて心地良かった」など、お褒めの言葉が並んでいました。皆さんはこのことを大いに誇りにして下さい。

さて、この夏は違った漢字で表す「熱い夏」でもありました。野球部が37年ぶりに夏の甲子園に出場しました。県大会では、10連覇中の相手に対し、万事休すと思いきや驚異の粘りを見せ、同点に追いつき、サヨナラホームランでの劇的な勝利、決勝も一進一退の攻防を制し甲子園への切符を手にしました。その勢いは甲子園でも続き、開幕戦という緊張する試合を伸び伸びとプレーし勝利、続く2回戦では昨年度覇者の智弁和歌山を撃破しました。残念ながらベスト16でしたが、「最後まで諦めてはいけない」「自分を信じる」ということを改めて皆に教えてくれた見事な戦いぶりであったと思います。

それと、今回、忘れてならないのは「皆が一つになって頑張る」ことの素晴らしさです。それは、もちろんデータ一班の活躍も取り上げられていたように野球部全員が一つになって戦っていたことはもちろんですが、在校生そして卒業生も一つになって懸命に頑張っていたことです。何よりも2泊3日、しかも2泊は車中泊というハードなスケジュールの中、多くの生徒の皆さんが炎天下のもと甲子園で応援してくれたことに私は心を打たれました。吹奏楽部、応援部も県大会から、暑い中必死になって楽器を演奏、そしてチアリーダーディング、体力的にも大変だったと思います。吹奏楽部では何人ものOBが毎回、駆けつけ一緒に演奏してくれましたが、OBと言えば、野球部OBを始めとして國栃を応援したくて来ましたという卒業生に何人も会いました。本校は教師と生徒の絆が強いとよく言われますが、まさに「オール國栃」です。そして、その様子は、高野連の会長から「選手と応援が一体となっている素晴らしい応援である」とお褒めの言葉をいただくほどでした。もちろん甲子園に来ることが出来

ず、テレビやネットの中継を観ながら、夢中になって応援してくれた人たちも思い一つになっていたと思います。

今までコロナ禍で様々な不安や窮屈さを抱えながら生活することも多かった中で、皆が一つになって心を熱くする機会が持てたことは本当に素晴らしいことであると強く感じました。皆さんも大きなエネルギーを持っている。そのエネルギー、「熱い思い」をこれからも育てていってほしいと思います。

これは何も学校行事や部活動ということだけでなく、全てのことに於いてです。特にこれから本格的に自分の進路目標を達成しようとする3年生、もちろん1, 2年生も3者面談で話された進路のことですが、「どうせ自分なんか」と思ってどこか諦めていないでしょうか。野球部も順風満帆に来たわけではありません。今回ノーシードであったように、勝てると思った試合を落としたり、悔しい負け方をしたり、大敗したり、直前の練習試合も10何連敗したりと、史上最弱と監督に言われ、苦しみ悩み抜いた末にあの戦いぶりがあるのです。何かを得るために近道や安易な道があるわけありません。そこで何度も落ち込むことはあっても、立ち上がり、気を取り直し、修正し、「熱い思い」を持ち続けながら進むしかないのであります。誰の人生でもない、それぞれ自分の人生なのであります。そして、今回のように受験もよく団体戦と言われますが、いつもクラスの仲間がいる、部活動の仲間がいる、そして私たち教師がいます。皆で一つになって高みに向かっていくということを改めて自覚してほしいと思います。そうすれば怖くはありません。不安も吹き飛ぶのです。

「熱い思い」を持てば辛い経験が自信と強さに変わる、皆が一つになって頑張れば一人ひとりが頑張れます。最も長く様々な経験をする、そして3年生にとっては勝負の2学期をこうした思いを持って過ごしていきましょう。今の行動の一つひとつが未来を創ることを信じてほしいと思います。